

## 浜田港長期構想（素案）について

### 1. 背景・主旨

- ① 浜田港の港湾計画は、平成9年3月港湾審議会第162回計画部会で改訂（目標年次H18年）
- ② 今日まで、平成11年の55,000t岸壁及び5,000t耐震強化岸壁完成、平成13年の韓国とのコンテナ船就航、平成20年のロシアとのRORO船就航、平成26年の臨港道路福井4号線着工などの機能整備を着実に推進
- ③ 近年、公共事業の縮小、リーマンショックに起因した世界同時不況、そして拡大を続けるアジアマーケットや船舶の大型化、TPP協定の大幅合意による貿易自由化、電力自由化によるバイオマス発電の増加などを背景に、本港が担うべき役割が変化
- ④ また、「地方創生」が最重要課題として位置づけられ、地域産業の振興、観光の振興、移住・定住の推進といった取り組みを柱に据え、これらを支える社会資本整備が求められる
- ⑤ このような状況を踏まえて、長期的視点（20～30年後）に立った港湾整備の主要施策を検討し、次期港湾計画の改訂に資するための長期構想を策定

明治29年	開港外貿易港に指定
昭和32年	重要港湾に指定（港湾法）
平成9年	浜田港港湾改訂計画の策定 ※昭和47年と昭和59年の改訂を経た現計画
平成11年	福井地区に55,000t級岸壁（-14m）280m、耐震5,000t級岸壁（-7.5m）130m完成
平成13年	国際定期コンテナ航路開設（プサン港⇄浜田港） コンテナターミナル（CFS・冷凍電源施設等）完成
平成20年	国際RORO船航路開設（ウラジオストク港⇄浜田港）
平成21年	国内最大旅客船「飛鳥II」が初寄港
平成22年	重点港湾に選定
平成23年	日本海側拠点港（原木）に選定
平成25年	福井上屋完成（1,997㎡）



## 2. 長期構想（素案）の概要

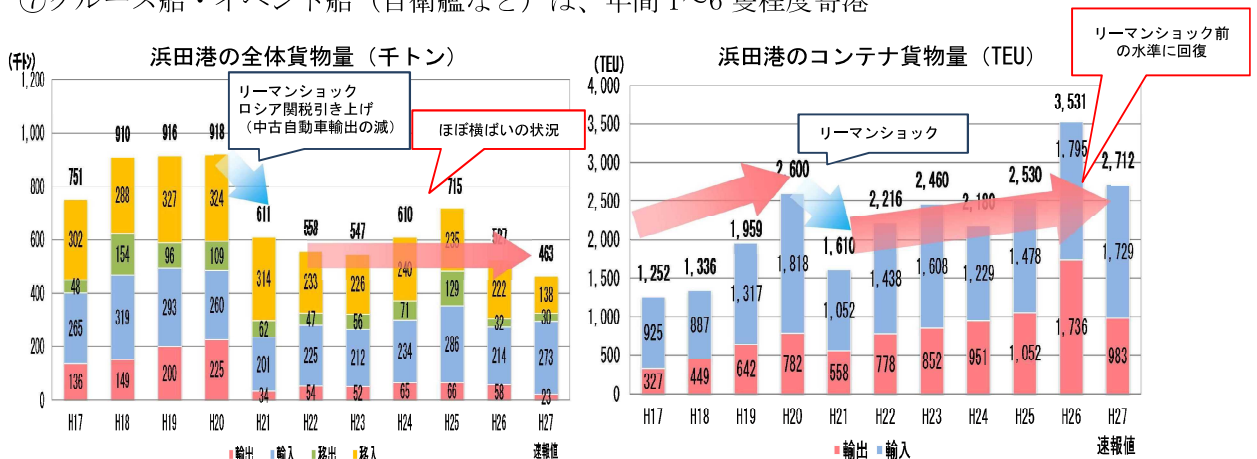
### (1) 背後地域の現況

- ①背後地域は、全国に先駆けて、人口減少社会・高齢化社会が進行
- ②第一次産業は、全国と比較して高く、拡販を目指し、多様な取り組みを展開
- ③第二次産業は、木材・木製品、製紙業、窯業、プラスチック製品製造業などが盛ん
- ④浜田港周辺では、浜田三隅道路の西村 I.C ～石見三隅 I.C が平成 28 年度に開通する他、浜田港と高速道路を直結する臨港道路福井 4 号線が平成 29 年度に開通する予定
- ⑤島根県西部には世界遺産石見銀山をはじめ、著名な観光資源が複数存在



### (2) 浜田港の現況

- ①平成 20 年までは対ロシアへの中古自動車輸出に牽引され増加傾向で推移
- ②ロシアの関税引き上げ及びリーマンショック等により中古自動車輸出が 9 割減となり、平成 21 年には大幅な減少
- ③その後平成 25 年まで緩やかな回復傾向が続いてきたが、平成 26 年は世界的な原油安に起因する急激なルーブル安のあおりで再び中古車輸出が減少、また円安による木材の輸入減などが影響し減少
- ④平成 27 年には近傍の工業団地にバイオマス発電所が営業を開始し、その燃料である PKS (Palm Kernel Shell パーム果実の種から核油を搾油した後の殻) の輸入取扱を開始する等、新たな需要も発生しているが、長浜地区の石油油槽所の撤退やロシア向け中古自動車の更なる減少
- ⑤コンテナ貨物取扱個数（実入）は、平成 20 年のリーマンショックを契機に落ち込みを見せたが、国産原木の海外での需要増や他港からのシフト等の影響を受けて回復傾向
- ⑥浜田港の 1 隻あたりの総トン数は、年々増加傾向にあり、船舶の大型化が進行
- ⑦クルーズ船・イベント船（自衛艦など）は、年間 1～6 隻程度寄港



(3) 浜田港への要請

【港湾利用上の課題】①大型船の寄港需要への対応②ヤード不足への対応③長浜地区の有効活用④福井地区～長浜地区間の接続強化⑤港内静穏度の確保⑥公共岸壁の老朽化⑦放置艇の収容



【上位関連計画】①国（国土形成計画・総合戦略・港湾の開発等基本方針・日本海側拠点港）  
②島根県（総合発展第3次実施計画・総合戦略）③浜田市（第2次総合振興計画・総合戦略）

	国	島根県	浜田市
物流	再生可能エネルギーの活用 徹底したエネルギー効率の向上と環境への配慮 林業の成長産業化の実現 総合的な陸上交通網の形成（モーダルシフトの促進） インフラ機能の強化・高度化 地球温暖化の緩和に向けた取組の推進 港湾相互間の連携の確保 地方への人材環流、地方での人材育成、地方の雇用対策 対岸貿易の強化	企業の競争力強化 企業立地の推進 県産品の販路開拓・拡大の支援 高速道路網の整備 空港・港湾の維持・整備（物流拠点港の施設整備、ボートセルズの強化） 環境保全の推進 再生可能エネルギーの利活用の推進	販路拡大対策 儲かる農業の推進 港湾整備の推進による物流機能の強化 港の利用促進と取扱貨物量の増加 再生可能エネルギーの導入促進
交流・生活	先手を打っての「攻め」の受入環境整備 ・貨物埠頭等の既存ストックの有効活用 ・「みなとオアシス」の活用 観光業を強化する地域における連携体制の構築 活力のある美しい港湾空間の創造と適正な管理	地域資源を活用した観光地づくりの推進 外国人観光客誘客の強化（クルーズ客船誘致の強化）	浜田漁港エリアの活性化 クルーズ客船等の誘致促進 「お宝観光資源」を活用した観光商品化と石見神楽の振興 観光客の受入体制の整備と滞在型観光の推進
防災	諸機能及びネットワークの多重性・代替性確保等による災害に強い国土構造の構築 ・施設の耐震化、基幹的広域防災拠点の運用体制の強化 ・港湾BCPの策定、航路啓開体制の構築等、災害対応力の強化 国民の安全・安心の確保への貢献 瀬戸内海側拠点港の機能代替	消防防災対策の推進 ・県が実施した地震（津波）被害想定調査結果に基づき、想定される被害に対する減災目標を設定して、地震・津波災害の防災・減災対策を実施	災害に強いまちづくりの推進 ・災害応急活動体制の整備

#### (4) 国内外の動向と浜田港の関わり

##### 【国際物流】

- ①国際間の貿易は今後さらに活発化する見通しで、海運業界では、就航隻数の増加や船型の大型化をさらに進めていく見通し
- ②浜田港と地理的距離が近いアジア圏域は、世界のGDPに占める構成比が2050年までに現状のおよそ2倍になる見通しで、アジア圏をターゲットとした貿易は今後ますます重要
- ③一方、山陰自動車道の全線開通は、貨物輸送にかかるリードタイムの短縮や定時性の確保といった効果を企業にもたらし、その結果、海外貿易が活発化することが期待（東南アジアに進出した県内企業による輸出入貨物の増加、TPPを活用した県産農林水産品・食品の輸出増加等）
- ④また、今後進出が見込まれるバイオマス発電の新規稼働や、日本海沖で調査が進む海底資源（石油、天然ガス、メタンハイドレートなど）の実用化など、エネルギー関連産業に関わる企業活動の活性化も期待

⇒ 島根県の国際物流拠点である浜田港は、変化する国際情勢に的確に対応

##### 【国内物流】

- ①人口減少社会の進行や生産年齢人口の半減により、国内物流は長期的には減少する見通し
- ②一方、地球温暖化を背景とする低炭素社会の実現に向けた取り組みや、深刻化している長距離トラックのドライバー不足問題に対処するため、船舶や鉄道による国内物流に切り替えていくモーダルシフトは、今後さらに推進

⇒ 経済と環境を両立させる産業界の取り組みに寄与

##### 【国際交流（クルーズ振興）】

- ①国土交通省は、2020年にクルーズ船で入国する外国人旅客数100万人（クルーズ100万人時代）を目指していた目標を、5年前倒しで実現
- ②20～30年後の訪日外国人旅行者については、中国、東南アジアなど近隣諸国の経済発展とともに、ますます増加する見通し
- ③浜田港背後には、著名な観光資源、伝統文化、美しい海や山の自然、そこで採れる新鮮な海産物や果物など、地域が誇れる財産も豊富

⇒ 資源や財産をクルーズ船の寄港に上手く組み合わせ、地域振興に寄与

##### 【防災】

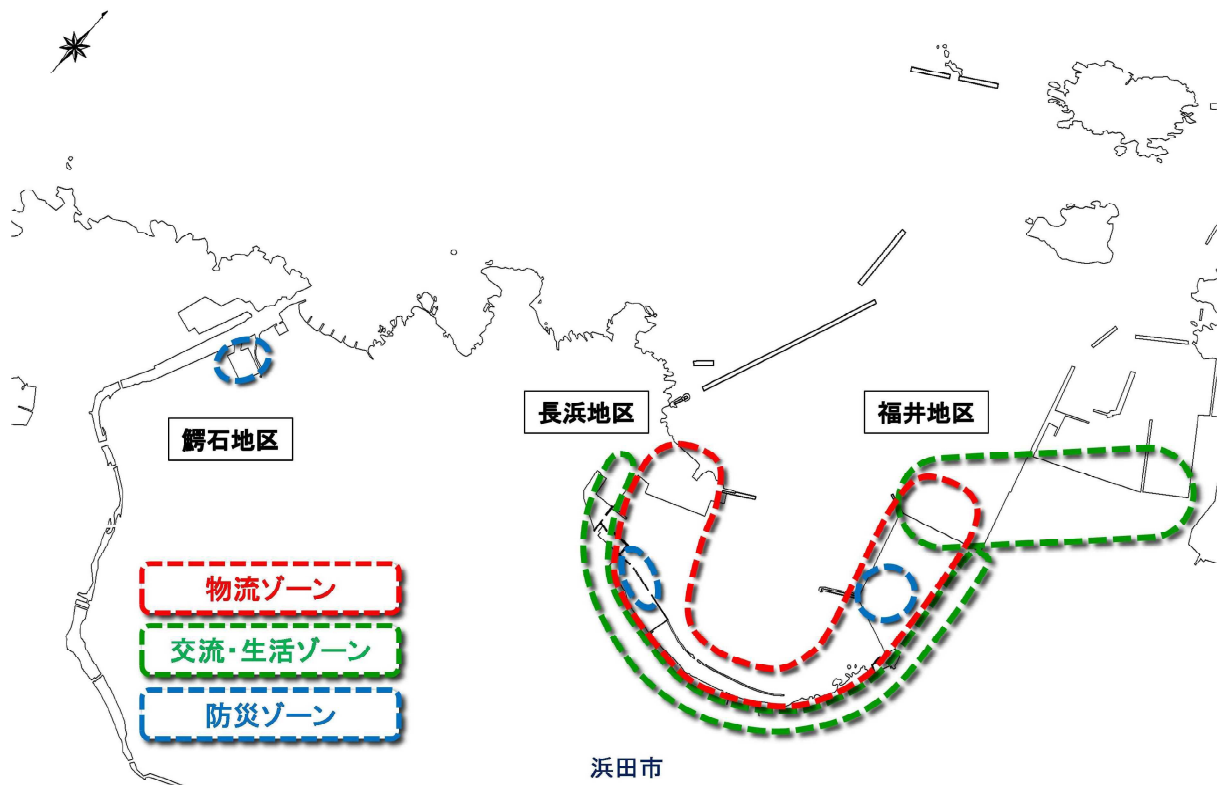
- ①平成23年に発生した東日本大震災の経験を踏まえ、平成26年6月に「国土強靱化基本計画」が閣議決定
- ②島根県では、「島根県国土強靱化計画（平成28年3月）」を策定、強靱な行政機能、地域社会、地域経済が実現

⇒ 利用する企業や県民生活を安全安心に支える

(5) 長期構想における基本方針と空間利用計画

- ①物流については、資源・環境・人口などの制約を乗り越えて国際競争力の強化に挑む背後圏域の産業を支え、県西部における働く場の創生に寄与する浜田港を目指す。
- ②交流・生活については、自然や伝統文化といった固有の資源を活かして来訪者を呼び込み、市民に親しまれる賑わいの場となる浜田港を目指す。
- ③防災については、ハードとソフトを組み合わせた自然災害への対策を推進することにより、最悪の事態を避け、企業活動の継続や安心な暮らしを維持する浜田港を目指す。

物流	県西部を中心とした背後圏域の産業を支え、 働く場の礎となる浜田港
交流生活	自然や伝統文化に彩られた県西部に人を呼び込み、 賑わいを創出する浜田港
防災	最悪の事態を避け、 企業活動の継続・安心な暮らしを維持する浜田港



(6) 長期構想における戦略と具体的取組・展開

【物流】

**戦略1 福井地区の沖合展開による物流機能の強化**

『戦略1 福井地区の沖合展開による物流機能の強化』として、大型船舶に対応した係留機能の強化や、荷捌き・保管機能の充実、国内定期航路の就航、集貨対策の推進、港と工業団地の接続強化といった施策を推進していく。

具体的には、船舶の大型化に対応するため、福井地区において大水深岸壁の整備やバース再編に取り組んでいく。

また、不足している荷捌地や保管施設等の充実を図るため、福井地区において荷役機械の大型化、上屋の増設、埠頭用地及び港湾関連用地の確保、新規ニーズに応じた保管設備の整備に取り組んでいく。

さらに、国内定期航路の就航に向けて、福井地区において国内定期航路化に向けた試験運航、国内定期航路の就航に取り組んでいく。

加えて、さらなる集貨対策として、既存航路の活用促進、新規取組への支援、ポートセールスの強化に取り組むほか、産業振興、国際競争力の強化といった観点から、港と工業団地を結ぶ道路の整備（隘路の解消等）に取り組んでいく。

福井地区の現状と展開



**福井地区の沖合展開による物流機能の強化に向けた取組内容**

短期：～5年  
中期：5～15年  
長期：15～30年

	施策	取組内容	取組時期			地区
			短期	中期	長期	
1	大型船舶に対応した係留機能の強化	大水深岸壁の整備及びバース再編	■			福井
2	荷捌き・保管機能の充実	荷役機械の大型化	■			福井
		上屋の増設	■			
		埠頭用地、港湾関連用地の確保	■			
		新規ニーズに応じた保管設備の整備		■		
3	国内定期航路の就航	国内定期航路化に向けた試験運航	■			福井
		国内定期航路の就航		■		
4	集貨対策の推進	既存航路の活用促進	■			福井
		新規取組への支援 (共同配船、LCL、農水産品、新規航路)	■			
		ポートセールスの強化	■			
5	港と工業団地の接続強化	工業団地と接続する道路の整備	■			福井

## 戦略 2 新規需要の受け皿としての長浜地区の活用（エネルギー関連）

『戦略 2 新規需要の受け皿としての長浜地区の活用』として、新規需要やエネルギー関連貨物取扱拠点の形成、高速道路へのアクセス機能の向上といった施策を推進していく。

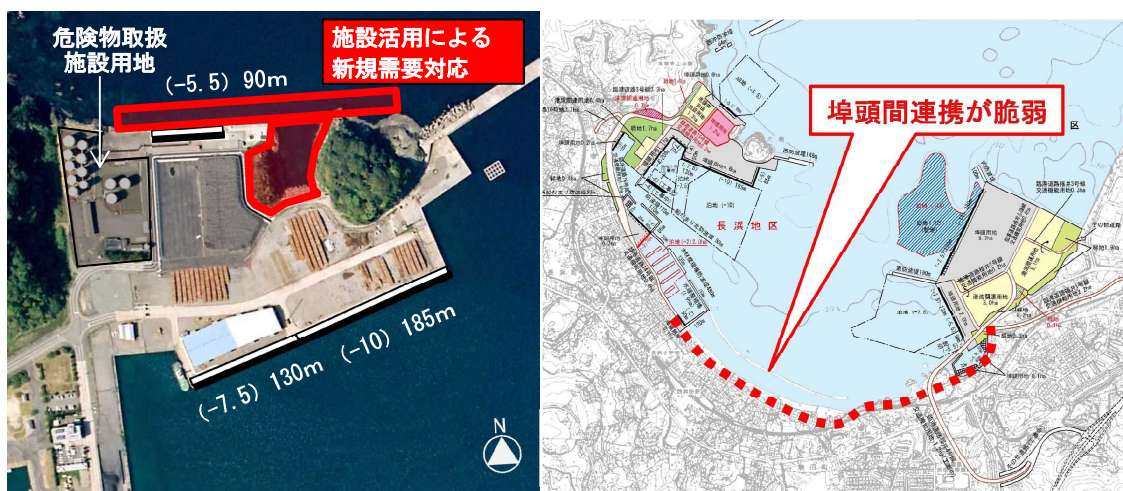
具体的には、周辺企業からの新規需要やエネルギー関連貨物の需要に対応するため、長浜地区において施設活用による新規需要への対応、危険物取扱施設用地の利用転換、埠頭用地の確保、海底資源調査基地としての活用、海底資源輸送基地の整備に取り組んでいく。

また、高速道路へのアクセス機能の向上を図るため、長浜地区において福井地区と接続する臨港道路の整備に取り組んでいく。

### 新規需要の受け皿としての長浜地区の活用に向けた取組内容

	施策	取組内容	取組時期			地区
			短期	中期	長期	
1	新規需要やエネルギー関連貨物取扱拠点の形成	施設活用による新規需要への対応				長浜
		危険物取扱施設用地の利用転換				
		埠頭用地の確保				
		海底資源調査基地としての活用				
		海底資源輸送基地の整備				
2	高速道路へのアクセス機能の向上	福井地区と接続する臨港道路の整備				長浜

### 長浜地区の現状と展開



【交流・生活】

戦略3 漁港との連携による大型客船の寄港促進

『戦略3 漁港との連携による大型客船の寄港促進』として、大型客船の受入環境の充実、伝統文化を活かしたおもてなしといった施策を推進していく。

具体的には、福井地区において物流連続バースを活用した係留延長の確保やしまねお魚センター等と接続する動線の整備に取り組んでいく。

また、浜田港全体として「みなとオアシス」を活用したみなとまちづくりの推進に取り組んでいく。

さらに、客船寄港時においては石見神楽等による歓迎イベント開催、背後圏域への観光誘客に取組んでいく。

漁港との連携による大型客船の寄港促進に向けた取組内容

	施策	取組内容	取組時期			地区
			短期	中期	長期	
1	大型客船の受入環境の充実	物流連続バースを活用した係留延長の確保	■			福井
		しまねお魚センター等と接続する動線の整備	■			
		「みなとオアシス」を活用したみなとまちづくりの推進		■	■	福井 長浜
2	伝統文化を活かしたおもてなし	石見神楽等による歓迎イベント開催	■	■	■	福井
		背後圏域への観光誘客(世界遺産、文化遺産)	■	■	■	

福井地区の現状と展開



みなとオアシス浜田 (H28. 2. 27 登録)





## 戦略4 港湾活動と周辺環境の調和による快適な生活環境の確保

『戦略4 港湾活動と周辺環境の調和による快適な生活環境の確保』として、港湾活動に伴う環境への影響の低減、港湾関連交通の適正分離といった施策を推進していく。

具体的には、港湾活動に伴う環境への影響の低減・緩和を図るため、物流機能の強化を図る福井地区において、緩衝緑地の整備に取り組んでいく。

また、港湾関連交通の適正分離を図るため、福井～長浜間で整備する臨港道路において、緑道の確保に取り組んでいく。

### 港湾活動と周辺環境の調和による快適な生活環境の確保に向けた取組内容

	施策	取組内容	取組時期			地区
			短期	中期	長期	
1	港湾活動に伴う環境への影響の低減	緩衝緑地の整備				福井
2	港湾関連交通の適正分離	臨港道路における緑道の確保				福井～長浜間

緩衝緑地の整備



適正分離の例（長浜地区）



浜田港周辺道路の交通状況

狭い通学路に流入する車両



出典：浜田港運（株）HP

【防災】

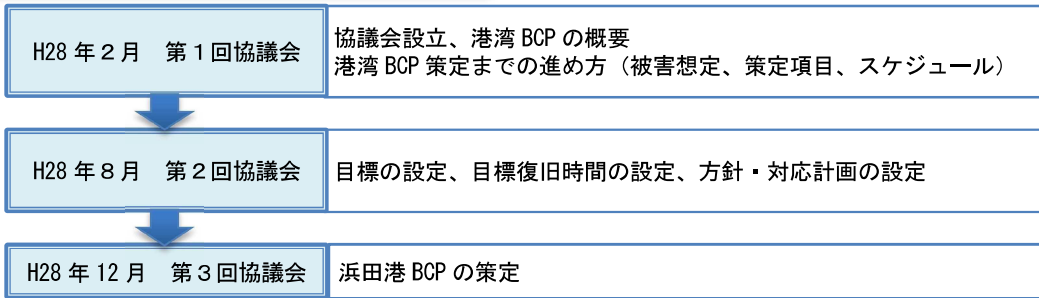
**戦略5 港の防災機能の向上**

『戦略5 港の防災機能の向上』として、大規模地震対策の強化を推進していく。  
 具体的には、福井地区に供用している耐震岸壁（福井埠頭4号岸壁）の活用を前提として、浜田港における「港湾BCP」の策定及び推進や、福井～長浜間を接続する臨港道路の「緊急輸送道路網」への位置付けに取り組んでいく。

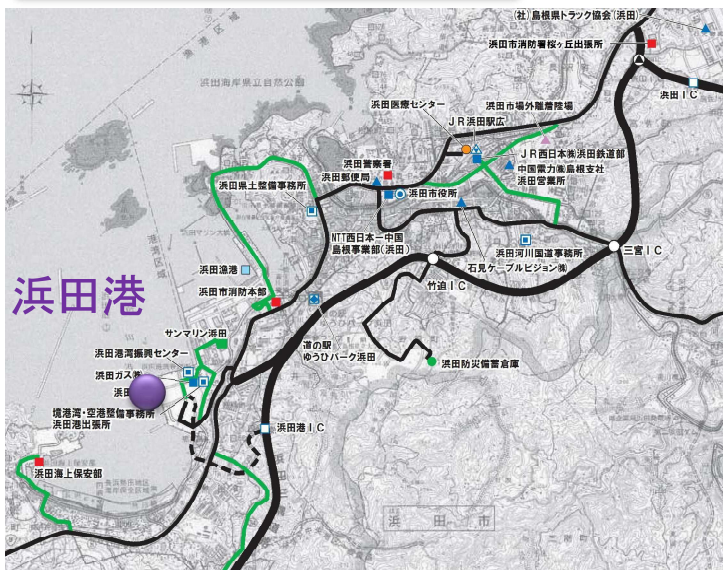
**港の防災機能の向上に向けた取組内容**

	施策	取組内容	取組時期			地区
			短期	中期	長期	
1	大規模地震対策の強化	港湾BCPの策定及び推進				全域
		緊急輸送道路網の位置付け				福井～長浜

**浜田港BCPの策定スケジュール（案）**



**緊急輸送道路ネットワーク計画図**



**■防災拠点凡例**

拠点の分類	記号		
	1次	2次	3次
A 県庁舎	●	□	
B 市役所・町村役場庁舎	◎	⊠	
C 道路・空港・港湾管理者庁舎	■	□	
D 消防・警察・自衛隊・海上保安庁	●	■	
E 空港・港湾	●	■	
F ヘリポート	■	▲	
G インターチェンジ		□	
H SA・PA・道の駅・鉄道駅前広場	■	▲	
I 広域防災拠点・集積備蓄基地	●	■	
J 医療機関	●	■	
K 災害応急対策・復旧拠点	■	■	
L その他 (ライフライン関連機関 等)	■	▲	

**■緊急輸送道路凡例**

緊急輸送道路の分類	記号	備考
第1次緊急輸送道路	— (--- 事業中)	高規格幹線道路
第2次緊急輸送道路	— (--- 事業中)	一般国道・県道
第3次緊急輸送道路	—	

出典：島根県緊急輸送道路ネットワーク計画図/H25.6  
 ※記載内容の一部を最新情報に更新

## 戦略6 港内環境改善による災害時におけるリスク回避

『戦略6 港内環境改善による災害時におけるリスク回避』として、小型船の適正管理、港湾施設の老朽化対策、冬季波浪対策といった施策を推進していく。

具体的には、長浜地区および鰐石地区において小型船だまりの整備や放置等禁止区域の指定等に取り組んでいく。

また、福井地区、長浜地区については、港湾施設の長寿命化計画や予防保全計画の策定および推進に取り組んでいく。

さらに福井地区においては、防波堤の整備による安全な航行環境の確保に取り組んでいく。

### 港内環境改善による災害時におけるリスク回避に向けた取組内容

	施策	取組内容	取組時期			地区
			短期	中期	長期	
1	小型船の適正管理の推進	小型船だまりの整備 放置等禁止区域の指定	■	■		長浜、鰐石
2	港湾施設の老朽化対策の推進	長寿命化計画、予防保全計画の策定・推進	■	■		福井、長浜
3	冬季波浪対策の推進	防波堤の整備	■	■		福井

船舶航行の支障となる放置艇



浜田港 新北防波堤の整備状況



出典：国土交通省 HP



整備状況



荒天時の様子

出典：国土交通省中国地方整備局  
境港湾・空港整備事務所 HP

# 将来像実現のための施策体系

将来像	基本戦略	施策	取組内容
<p>県西部を中心とした背後圏域の産業を支え、働く場の礎となる浜田港</p>	福井地区の沖合展開による物流機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型船舶に対応した係留機能の強化</li> <li>荷捌き・保管機能の充実</li> <li>国内定期航路の就航</li> <li>集貨対策の推進</li> <li>港と工業団地の接続強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大水深岸壁の整備及びバース再編</li> <li>荷役機械の大型化</li> <li>上屋の増設</li> <li>埠頭用地、港湾関連用地の確保</li> <li>新規ニーズに応じた保管設備の整備</li> <li>国内定期航路化に向けた試験運航</li> <li>国内定期航路の就航</li> <li>既存航路の活用促進</li> <li>新規取組への支援（共同配船、LCL、農水産品、新規航路）</li> <li>ポートセールスの強化</li> <li>工業団地と接続する道路の整備</li> </ul>
	新規需要の受け皿としての長浜地区の活用（エネルギー関連）	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規需要やエネルギー関連貨物取扱拠点の形成</li> <li>高速道路へのアクセス機能の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設活用による新規需要への対応</li> <li>危険物取扱施設用地の利用転換</li> <li>埠頭用地の確保</li> <li>海底資源調査基地としての活用</li> <li>海底資源輸送基地の整備</li> <li>福井地区と接続する臨港道路の整備</li> </ul>
<p>自然や伝統文化に彩られた県西部に人を呼び込み、賑わいを創出する浜田港</p>	漁港との連携による大型客船の寄港促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型客船の受入環境の充実</li> <li>伝統文化を活かしたおもてなし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流連続バースを活用した係留延長の確保</li> <li>しまねお魚センター等と接続する動線の整備</li> <li>「みなとオアシス」を活用したみなとまちづくりの推進</li> <li>石見神楽等による歓迎イベント開催</li> <li>背後圏域への観光誘客（世界遺産、文化遺産）</li> </ul>
	港湾活動と周辺環境の調和による快適な生活環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>港湾活動に伴う環境への影響の低減</li> <li>港湾関連交通の適正分離</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緩衝緑地の整備</li> <li>臨港道路における緑道の確保</li> </ul>
<p>最悪の事態を避け、企業活動の継続・安心な暮らしを維持する浜田港</p>	港の防災機能の向上	大規模地震対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>港湾BCPの策定及び推進</li> <li>緊急輸送道路網の位置付け</li> </ul>
	港内環境改善による災害時におけるリスク回避	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型船の適正管理の推進</li> <li>港湾施設の老朽化対策の推進</li> <li>冬季波浪対策の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型船だまりの整備</li> <li>放置等禁止区域の指定</li> <li>長寿命化計画、予防保全計画の策定・推進</li> <li>防波堤の整備</li> </ul>

# 各地区における施策展開

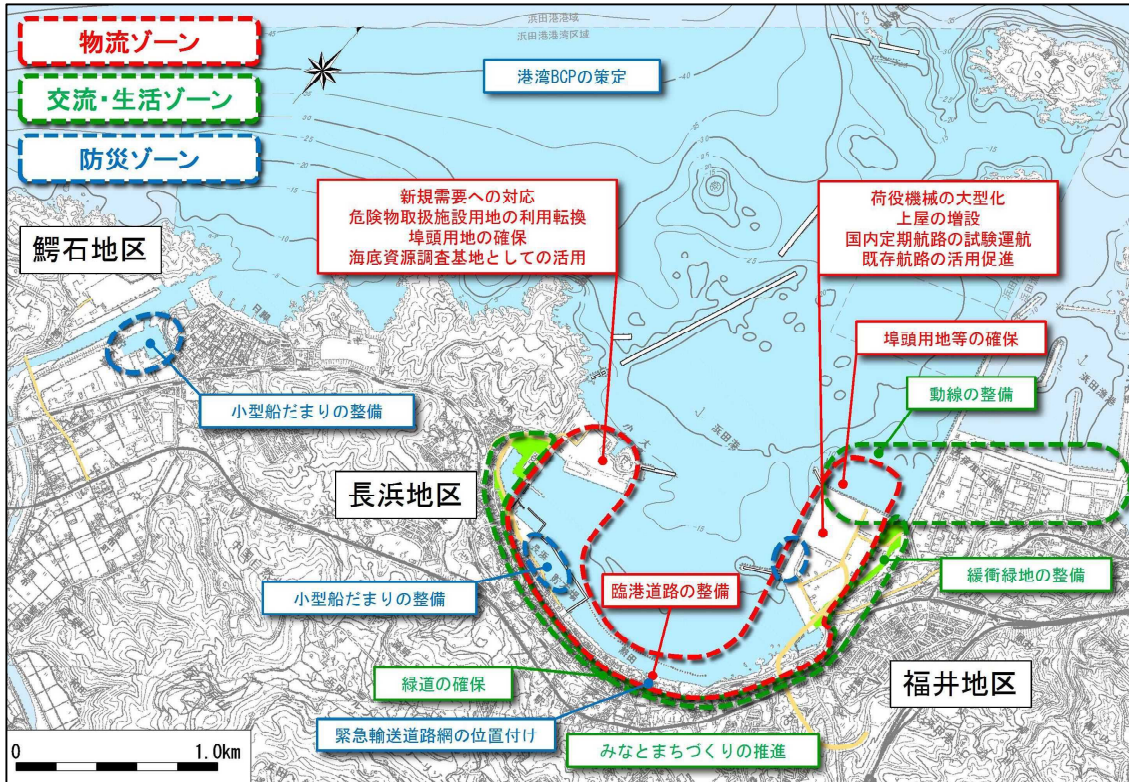


図 各地区における施策展開【中期まで】

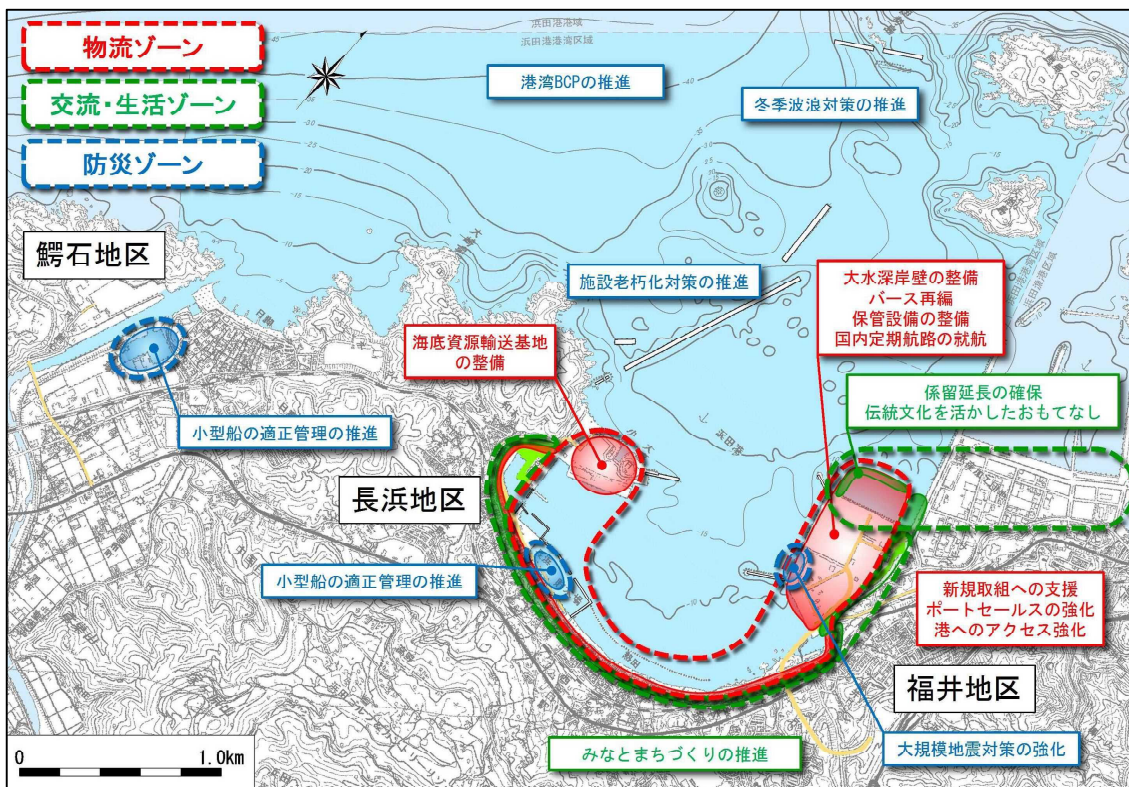


図 各地区における施策展開【長期まで】

### 3. その他

## 浜田港長期構想検討委員会 委員名簿

(順不同・敬称略、平成28年3月現在)

区分	氏名	所属・職名等	
委員長	中尾成邦	一般財団法人港湾空港総合技術センター	理事長
委員	岩橋紀代美	島根県中小企業家同友会	常任相談役
委員	佐藤幸雄	山陰経済経営研究所株式会社	代表取締役社長
委員	三浦妙子	元 浜田商工会議所	経営指導課長
委員	久保田典男	島根県立大学	准教授
委員	山本洋治	浜田港運株式会社	代表取締役社長
委員	前田幸子	株式会社ケイ・エフ・ジー	管理部長
委員	村田あゆみ	島根合板株式会社	
委員	三原幸子	日本製紙株式会社 ケミカル事業本部 江津事業所	
委員	斎藤理子	三隅港地元(岡見地区)	代表
委員	近藤隆志	浜田商工会議所	議員
		株式会社エル・アイ・ビー	取締役管理本部長
委員	平下洋子	江津商工会議所	女性委員会委員長
		株式会社三維	会長
委員	中尾由岐夫	漁業協同組合 JFしまね	専務理事
委員	徳田マスエ	J Aしまね いわみ中央	女性部長
委員	久保田章市	浜田市	市長
委員	鈴木徹	国土交通省中国地方整備局 港湾空港部	部長
委員	野田勝	国土交通省中国地方整備局 企画部	部長
委員	八澤昭二	国土交通省中国運輸局 島根運輸支局	支局長
委員	南條新一郎	浜田海上保安部	部長
			浜田港長
委員	隅田隆之	神戸税関浜田税関支署	支署長
オブザーバー	小池慎一郎	国土交通省港湾局 計画課	港湾計画審査官
事務局	安井克久	島根県商工労働部	部長
事務局	富樫篤英	島根県土木部	部長

## 浜田港長期構想 策定スケジュール

本長期構想は、第1回及び第2回浜田港長期構想検討委員会の審議を経た素案であり、今後は広く県民から意見を募り、第3回委員会で「浜田港長期構想」を策定する予定である。

年月	内容	
H27. 10. 29	第1回委員会・幹事会 ・現状分析と課題整理	検討済み
H28. 1. 29	第2回幹事会	
H28. 3. 10	第2回委員会 ・浜田港の課題と課題に対する対応策(将来像と基本戦略) ・港湾整備の方向性 ・長期構想素案の提示	
H28. 4~7	パブリックコメントの収集(県民からの意見募集 4/28~5/31) 閲覧方法：県ホームページ 関係行政機関(県庁、浜田港湾振興センター、浜田市役所ほか) 提出方法：郵送、FAX、電子メール 提出先：島根県土木部港湾空港課	検討予定
H28. 7	第3回幹事会	
H28. 9	第3回委員会 ・浜田港長期構想案の策定	
H28. 12	第4回幹事会	
H29. 1	第4回委員会 ・浜田港港湾計画の素案	
H29. 3	地方港湾審議会 ・浜田港港湾計画の審議	

# 浜田港の主な施設整備構想（素案）

